

農作物の生育概況等について

1 気象経過

7月は、平年に比べて平均気温は高く、降水量は村山、置賜地域で多く、最上、庄内地域でかなり多く、日照時間は少なく経過した。曇りや雨の日が多く、特に7月7日から11日にかけて、最上地域を中心に記録的な降雨があった。ねぎやにら等の一部の圃場で浸水被害が発生したものの、早期に排水や病害防除等の対応を行っており、作柄全体への大きな影響はないと見込まれる。また、7月18日には、最上・庄内地域を中心に大雨となったが、現時点では大きな被害は確認されていない。

2 主な農作物の生育状況

(1) 水 稲

7月19日現在の生育は、平年に比べて草丈は長く、茎数はやや少なく、葉数は平年並みで、葉色は濃くなっている。出穂期は平年並みと見込まれる。

【予想出穂期：「はえぬき」8月3日（平年比+1日）、「つや姫」8月8日（平年比±0日）、「雪若丸」8月2日（平年比±0日）】

(2) 大 豆

7月上旬の大雨の影響で中耕培土の作業がやや遅れている。一部の圃場では排水不良の影響で生育停滞が見られる。

(3) 果 樹

- ・ りんご、西洋なし、もも等の生育は、開花期以降の高温等の影響で、平年より10日程度早まっている。
- ・ ぶどう「デラウェア」の出荷は、加温栽培ものが概ね終了し、無加温栽培ものが始まっており、7月25日頃から本格化する見込み。日照不足の影響で着色遅延がみられている。今後の降雨の影響による裂果の発生が懸念される。

(4) 野 菜

- ・ 露地すいかの収穫は、例年よりやや早い7月10日頃から始まり、例年並の7月20日頃から本格化している。果実の肥大及び品質は概ね良好である。
- ・ 露地メロンの収穫は、例年よりやや早い7月8日頃から始まり、例年並の7月20日頃から本格化している。果実の肥大及び品質は概ね良好である。

(5) 花 き

- ・ 8月盆向け露地りんどうの収穫盛期は、例年より1週間程度早い7月下旬になると見込まれる。

3 当面の主な技術対策

〈水 稲〉中干し後の飽水管理、間断かん水、出穂期の湛水管理、斑点米カメムシ類やいもち病の適期防除

〈果 樹〉さくらんぼの双子果対策の徹底、ぶどう「デラウェア」及びももの適期収穫・選果徹底、各樹種の高湿対策、病虫害防除の徹底

〈野菜花き〉適期収穫、肥培管理の徹底、露地栽培の排水対策の徹底、ハウス栽培の温度管理の徹底、高湿対策の徹底、各種病虫害の適期防除

〈農作業安全〉熱中症や農作業事故を防止するための基本的な対策の実施